

「東洋の人間観と脳情報学で実現する安らぎと慈しみの境地（PM：今水 寛）」 （2022年～2031年）

1. プロジェクトのねらい

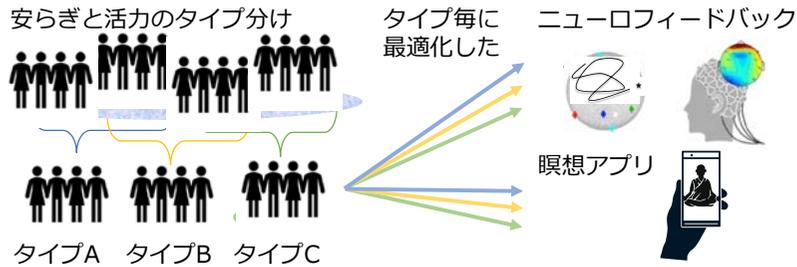
●目標9で達成を目指す社会像との関わり
情報が絶え間なく流入する情報化社会において、ひとりひとりが自身と向き合い、本来持つ能力を発揮し、他者への慈しみを有する社会を実現する。

個人がいたいところの状態になる

個性に応じた瞑想とニューロフィードバックにより、自己の内面を把握、こころの状態を自らの意思で制御することを助ける

個人や集団のありたい姿と両立する

自己の内面の把握と制御が、他者への慈しみなど、向社会的な志向（四無量心）に繋がるという仏教の仮説を検証



2. 研究開発プロジェクトのマイルストーン（達成目標）

プロジェクト開始3年目（2024年）

- ・安らぎと活力の個性をタイプ分けするデータベースを構築
- ・脳の状態を可視化するニューロフィードバックの開発
- ・仏教の知識に基づいたスマホアプリのプロトタイプを作成

5年目（2026年）

- ・安らぎと活力の個性をタイプ分けする方法を確立
- ・ニューロフィードバックの検証実験を実施
- ・大規模な瞑想介入実験の実施

10年目（2031年）

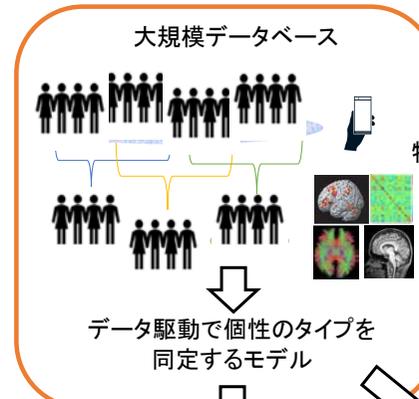
- ・個性に応じて安らぎと活力のバランスを最適化
- ・小型バスを用いた社会実装実験の実施
- ・現実社会の中でどの幸福指標を変えられるかを特定

3. プロジェクトの全体構成

●プロジェクトの概念図

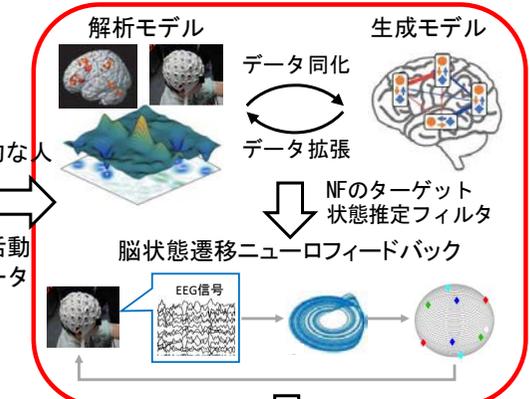
テーマ① データ駆動モデル化

個性のタイプを同定する方法を確立



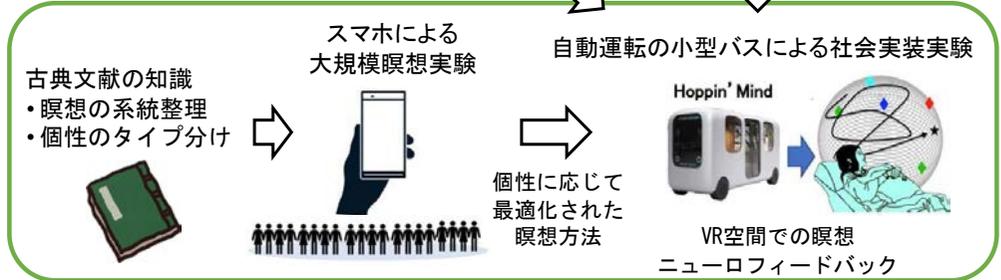
テーマ② ニューロフィードバック

ニューロフィードバック (NF) の開発



テーマ③ 社会実装

大規模な瞑想実験とNFの社会実装実験



●研究開発項目及び実施体制

- ① **データ駆動モデル化チーム** 個性のタイプを同定する方法を確立
田中沙織 (ATR) 酒井雄希 (XNef) 中村元 (KDDI総合研究所)
- ② **ニューロフィードバックチーム** ニューロフィードバックの研究開発
川鍋一晃 (ATR) 浅井智久 (ATR)
- ③ **社会実装チーム** 大規模な瞑想実験と成果の社会実装
川島一朔 (ATR) 蓑輪顕量 (東京大学)